

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20227008	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	アクチンフィラメントの構造と動態:特にカルシウム調節のメカニズムの解明	研究代表者 (所属・職)	前田 雄一郎 (名古屋大学・大学院理学研究科・教授)

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、細胞機能を担うアクチンを対象とし、構造生物学的アプローチによりその機能発現を解明しようとするものであり、幾つかの進展がみられる。その中でもアクチン重合体の立体構造を研究代表者が独自に開発した手法により世界に先駆けて解明した点は大きく評価できる。一方、当初計画されていたアクチン複合体の立体構造の決定およびカルシウム調節メカニズムの解明に関しては、十分な成果を挙げているとはいえ、残された研究期間での進展を期待する。</p>	